



福井県立大学 「先端増養殖科学科」

2022年4月 **START!**

福井県立大学海洋生物資源学部に新学科が誕生します。
世界的に水産物需要が拡大する中、水産資源のSDGs達成に貢献する
水産増養殖は大企業やベンチャー企業の参入が相次ぐ注目の成長産業です。
ゲノム科学、AI解析、IoTなど幅広い先端技術を活用し
「未来の水産増養殖」を創る“最先端”の学科です。

入学定員

30名

テクノロジー × 水産増養殖 新たなチャレンジに私たちも期待しています!

嶺南地域・県大地域振興連携推進会議



福井県知事
杉本 運治



福井県工業連合会
会長 有馬 義一



小浜商工会議所
会長 井田 清志



福井県漁業協同
組合連合会
代表理事 会長
平野 仁彦



一般社団法人
福井県観光推進
協会 会長
山岸 博之



いしづか海産物
株式会社 代表
取締役社長
西野 弘純



福井中央漁業
株式会社 代表
取締役社長
三木 謙



福井県漁業
振興会 会長
村上 隆信



小浜市 市長
松崎 晃治



美浜町 町長
戸嶋 秀樹



高浜町 町長
野瀬 豊



おおい町 町長
中塚 寛



若狭町 町長
渡辺 英明



若狭高等学校
校長 中森 一郎

※福井県立大学の新学科プロジェクトは、若狭地域の全市町、地元経済界、地元水産事業者などの応援を得て実施されています。

福井県立大学「先端増養殖科学科」開設事業

背景

- 世界的に水産物需要が拡大一方、気候変動や乱獲により水産資源は減少傾向
- 2013年以降、世界の漁業生産量全体に占める養殖の割合は5割超

→ **水産増養殖は成長産業**



現状の課題

- 個人の経験や勘に頼った養殖生産
→ AI、IoTなど幅広い先端技術を活用した「スマート水産業」への転換
- 高齢化による就業者の減少
→ 担い手の育成による生産力向上

事業の目的

「未来の水産増養殖」を担う人材の育成

これまでの取組

2019.8月 産学官連携組織「ふくい水産振興センター」設立

2022.4月 **「先端増養殖科学科」**開設
定員を上回る31名の一期生が入学

〃 水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」運用スタート
学術研究、産業支援、人材育成を三位一体で推進

福井県立大学「先端増養殖科学科」開設事業

事業内容

○福井県立大学かつみキャンパス整備

2023年夏、新学科生の学びの拠点となる学科棟・飼育実験棟が完成予定
整備費：約18.8億円 ※国の地方創生拠点整備交付金を活用



- ・県水産試験場と同一敷地内とし、最先端かつ実践的な水産技術を学ぶ
- ・飼育実験棟では民間企業等との共同研究を実施し、学生は企業の先端的な研究を学びながら実習やインターンシップ、研究への参画

○成果および目標

- ・水産増養殖リーダーの育成
- ・増養殖分野における生産性 & 収益性の向上
- ・地域経済の好循環の創出

成果など

福井県立大学「先端増養殖科学科」開設事業

○企業の皆様へのお願い

- ・ 企業版ふるさと納税による本プロジェクトの応援
- ・ 新学科の共同研究・受託研究への参画
- ・ 若狭地域への養殖研究・生産拠点の立地

○企業のメリット

- ・ SDGs達成への貢献のPR、
企業ブランドイメージの向上
- ・ 増養殖事業への最先端かつ幅広い大学知見
の活用
- ・ 企業の即戦力となる専門人材の育成



【学科棟（外観イメージ図）】

民間企業の皆様の

ご参画、ご支援をよろしく申し上げます。

【連絡先】

福井県 総務部 大学私学課 高等教育グループ

TEL : 0776-20-0245 Email : daishi@pref.fukui.lg.jp